



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <https://www.broadmedia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 押尾 英明
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6439-3983

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,803	1.4	139		183		150	
2019年3月期第1四半期	2,764	4.0	30		43		89	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 209百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 85百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.93	
2019年3月期第1四半期	1.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	6,493	3,213	38.1	31.69
2019年3月期	6,557	3,003	35.6	29.92

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,471百万円 2019年3月期 2,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	7.9	350	109.6	360	77.3	180	7.8	2.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	79,147,323 株	2019年3月期	79,147,323 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,157,427 株	2019年3月期	1,157,427 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	77,989,896 株	2019年3月期1Q	77,989,896 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ38,733千円(1.4%)増加し、2,803,111千円(前年同期は2,764,377千円)となりました。「放送」「ネットワーク営業」は減収となりましたが、その他3つのセグメントが増収となったことで、売上高は増加いたしました。

営業利益は、139,688千円(前年同期は30,166千円の損失)となりました。「スタジオ」「ネットワーク営業」が損失を計上した一方、「技術」は好調に推移し、「コンテンツ」は黒字転換いたしました。また、前年同期に発生した連結子会社である(株)釣りビジョンの架空取引被害に関連する費用約70,000千円が無かったこと等が要因となり増益となりました。

経常利益は、183,622千円(前年同期は43,632千円の損失)となりました。営業増益に加え、受取保険金を計上したこと等が主な要因です。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、150,343千円(前年同期は89,263千円の損失)となりました。子会社における税金費用や非支配株主に帰属する四半期純利益が増加した一方、(株)釣りビジョンにおいて過年度地方税の還付があったこと等が影響し、増益となりました。

(2019年6月30日現在)

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	クラウドゲームサービス	<ul style="list-style-type: none"> クラウドゲーム機「G-cluster」の販売及びクラウドゲームサービスの提供 通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 スマートフォン向けクラウドゲームアプリの提供 	ブロードメディアGC(株) Oy Gamecluster Ltd.
	デジタルメディアサービス	<ul style="list-style-type: none"> マルチデバイス向けコンテンツ配信サービス「クランクイン!ビデオ」、「クランクイン!コミック」の提供 スマートフォンサイト「クランクイン!」等の企画・運営 モバイルサイト「ハリウッドチャンネル」等、複数サイトの企画・運営 	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	<ul style="list-style-type: none"> イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」の運営 	ルネサンス・アカデミー(株)
放送	釣り専門チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> 衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 映像の受託制作 	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	<ul style="list-style-type: none"> 日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作 	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ハリウッド映画等のテレビ局への供給 	
	映画配給事業	<ul style="list-style-type: none"> 劇場映画の製作・配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売、VOD権の販売 	
技術	デジタルシネマサービス	<ul style="list-style-type: none"> ブロードメディア*CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル 	—
		<ul style="list-style-type: none"> 映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPFサービスの提供 	デジタルシネマ倶楽部(株)
	CDNサービス	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツを最適な形で配信する「CDNサービス」、「CMオンラインサービス」、「セキュリティサービス」の提供 	ブロードメディア・テクノロジーズ(株)
	ホスピタリティ・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ホテルの客室、会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供 	
	その他ソリューションサービス	<ul style="list-style-type: none"> グローバルに展開されたプライベートネットワーク「Aryaka」の提供 対話型AIプラットフォーム「Passage AI」の提供 	

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
ネットワーク営業	ブロードバンド回線販売	・「SoftBank 光」サービスの販売 ・「SoftBank Air」サービスの販売 ・「Yahoo! BB」及びその他商材の販売	—
	ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	
	携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯端末の取り扱い	
全社費用		・ブロードメディア(株)本社の管理業務(人事総務、財務経理、法務等)及びグループ会社の統括管理	—
その他(注)		・中国における、釣り番組のコンサルティング、釣りポータルサイトの運営、釣り関連商品の販売、釣り大会の運営等	湖南快樂垂釣發展有限公司
		・全テレビ番組録画機の企画・製造・販売、及びテレビ番組ソーシャルサービスの運営	ガラボン(株)

(注) 「その他」に含まれる事業は、全て持分法適用関連会社における事業であるため、報告セグメントには含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの売上高及び営業損益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、クラウドゲームサービス、デジタルメディアサービス、教育サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、スマホ・タブレット向けのコンテンツ配信及び広域通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ172,101千円(29.3%)増加し、760,219千円(前年同期は588,117千円)、営業損益は95,510千円の利益(前年同期は14,674千円の損失)となりました。

教育サービスは、入学生徒数が過去最高となったことで、増収増益となりました。デジタルメディアサービスは広告収入やVODサービスが好調に推移したことにより、売上は増加し黒字転換いたしました。また、クラウドゲームサービスは、売上高が伸びたことで営業損失が縮小いたしました。

②放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、並びにBS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ30,238千円(4.2%)減少し、692,505千円(前年同期は722,744千円)、営業利益は79,960千円(前年同期は41,582千円)となりました。

視聴料収入が減少したことが影響し、減収となりましたが、継続して取り組んでいるコスト削減効果により増益となりました。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

売上高は、前年同期と比べ64,235千円(12.1%)増加し、593,924千円(前年同期は529,689千円)、営業損益は22,228千円の損失(前年同期は8,756千円の損失)となりました。制作事業は受注が増加し、増収増益となりました。一方、番組販売事業はテレビ局向け番組販売が減少したことに加え、原価率が上昇しました。また、映画配給事業は苦戦が続き赤字幅が拡大いたしました。その結果、「スタジオ」セグメントの売上高は増加しましたが、営業損失が拡大いたしました。

④技術

「技術」セグメントは、デジタルシネマサービス、CDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス、ホテルの客室、会議室へのインターネットサービス及びその他ソリューションサービスの提供を行っております。

売上高は、前年同期と比べ62,461千円(9.9%)増加し、690,904千円(前年同期は628,442千円)、営業利益は110,625千円(前年同期は100,964千円)となりました。

CDNサービスの既存顧客向けの新たなソリューションやサービスが寄与したこと等により、増収増益となりました。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ブロードバンド回線（SoftBank 光、SoftBank Air）やISPサービス、携帯電話サービス等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ229,826千円（77.8%）減少し、65,557千円（前年同期は295,383千円）、営業損益は1,294千円の損失（前年同期は12,619千円の利益）となりました。

ブロードバンド回線の販売は苦戦が続いていることに加え、通信商材のテレマーケティング事業の立ち上げに時間を要していることから、売上高は大幅に減少し、営業損失を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、BS放送に係る衛星利用料を前払いしたことにより前払費用が増加した一方、番組勘定が減少したことや連結子会社の（株）釣りビジョンにおいて過年度法人税等の還付があったこと等により、前期末に比べ2,486千円減少し、4,998,482千円となりました。固定資産は、リース資産の減少等により前期末に比べ61,662千円減少し、1,495,237千円となりました。これらの結果、総資産は、前期末に比べ64,149千円減少し、6,493,720千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、買掛金や前受金が減少したこと等により、前期末に比べ227,074千円減少し、2,627,046千円となりました。固定負債は、リース債務が減少したこと等により前期末に比べ46,994千円減少し、653,096千円となりました。これらの結果、負債合計は、前期末に比べ274,068千円減少し、3,280,143千円となりました。

(ハ) 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益150,343千円を計上したこと等により、純資産合計は前期末に比べ209,919千円増加し、3,213,576千円となりました。これにより、自己資本比率は38.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて6,283千円減少し、1,863,167千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、プラス120,422千円（前年同期はマイナス308,766千円）となりました。税金等調整前四半期純利益183,622千円を計上したことに加え、たな卸資産の減少や（株）釣りビジョンにおいて過年度法人税等の還付があったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得や貸付けによる支出があったこと等から、マイナス51,016千円（前年同期はマイナス22,834千円）となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出があったことから、マイナス75,533千円（前年同期はマイナス72,760千円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,869,451	1,863,167
受取手形及び売掛金	1,100,483	1,112,101
商品及び製品	17,893	13,008
仕掛品	129,689	105,466
原材料及び貯蔵品	12,327	12,177
番組勘定	1,398,369	1,365,522
その他	485,762	534,340
貸倒引当金	△13,006	△7,301
流動資産合計	5,000,969	4,998,482
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	279,823	253,121
その他(純額)	345,025	342,247
有形固定資産合計	624,849	595,368
無形固定資産		
のれん	74,109	70,239
その他	93,680	97,698
無形固定資産合計	167,789	167,938
投資その他の資産		
投資有価証券	365,183	350,670
破産更生債権等	546,962	547,548
その他	493,121	471,543
貸倒引当金	△641,007	△637,832
投資その他の資産合計	764,260	731,930
固定資産合計	1,556,899	1,495,237
資産合計	6,557,869	6,493,720

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	665,406	490,331
短期借入金	150,000	150,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	79,020	47,455
前受金	725,042	658,158
賞与引当金	148,174	66,673
その他	1,036,476	1,164,428
流動負債合計	2,854,120	2,627,046
固定負債		
社債	175,000	175,000
退職給付に係る負債	205,360	210,075
リース債務	264,370	217,306
その他	55,360	50,715
固定負債合計	700,091	653,096
負債合計	3,554,212	3,280,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,457,496	3,457,496
資本剰余金	2,846,622	2,846,622
利益剰余金	△3,829,531	△3,679,187
自己株式	△175,253	△175,253
株主資本合計	2,299,332	2,449,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,805	△3,746
為替換算調整勘定	37,249	25,327
その他の包括利益累計額合計	34,443	21,580
非支配株主持分	669,880	742,319
純資産合計	3,003,656	3,213,576
負債純資産合計	6,557,869	6,493,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,764,377	2,803,111
売上原価	1,815,381	1,752,280
売上総利益	948,996	1,050,831
販売費及び一般管理費	979,162	911,142
営業利益又は営業損失(△)	△30,166	139,688
営業外収益		
受取利息	261	247
受取配当金	380	243
貸倒引当金戻入額	3,754	8,853
受取事務手数料	4,105	4,165
受取保険金	190	23,110
その他	2,379	19,365
営業外収益合計	11,070	55,984
営業外費用		
支払利息	12,975	9,484
為替差損	8,304	-
持分法による投資損失	719	2,095
その他	2,538	469
営業外費用合計	24,537	12,050
経常利益又は経常損失(△)	△43,632	183,622
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,632	183,622
法人税、住民税及び事業税	32,419	54,599
過年度法人税等	-	△110,046
法人税等調整額	4,060	16,287
法人税等合計	36,480	△39,159
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,112	222,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,151	72,439
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,263	150,343

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,112	222,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△380	△940
為替換算調整勘定	△862	△445
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,229	△11,476
その他の包括利益合計	△5,472	△12,862
四半期包括利益	△85,585	209,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△94,736	137,480
非支配株主に係る四半期包括利益	9,151	72,439

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,632	183,622
減価償却費	72,141	67,487
のれん償却額	3,613	3,588
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,863	△8,879
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,626	△81,500
受取利息及び受取配当金	△641	△490
支払利息	12,975	9,484
持分法による投資損益(△は益)	719	2,095
売上債権の増減額(△は増加)	92,949	△11,647
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,944	62,904
仕入債務の増減額(△は減少)	△219,500	△175,075
未払又は未収消費税等の増減額	38,104	38,412
その他の資産・負債の増減額	△237,562	△162,392
その他	1,878	4,764
小計	△263,499	△67,626
利息及び配当金の受取額	380	243
利息の支払額	△12,959	△9,201
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△32,687	226,006
その他	-	△29,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△308,766	120,422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△13,597	△16,010
貸付けによる支出	-	△39,000
貸付金の回収による収入	3,750	3,750
その他	△12,986	244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,834	△51,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△72,760	△75,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,760	△75,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△934	△156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△405,295	△6,283
現金及び現金同等物の期首残高	1,616,807	1,869,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,211,511	1,863,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						全社費用	合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	計		
売上高	588,117	722,744	529,689	628,442	295,383	2,764,377	—	2,764,377
セグメント利益又は損失 (△)	△14,674	41,582	△8,756	100,964	12,619	131,735	△161,901	△30,166

(注) セグメント利益又は損失(△)における「全社費用」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア株)の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						全社費用	合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	計		
売上高	760,219	692,505	593,924	690,904	65,557	2,803,111	-	2,803,111
セグメント利益又は損失 (△)	95,510	79,960	△22,228	110,625	△1,294	262,572	△122,884	139,688

(注) セグメント利益又は損失(△)における「全社費用」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア株)の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。